

令和5年度シラバス（国語） 学番 68 新潟県立高田南城高等学校

教科（科目）	国語（国語活用）	単位数	2単位	学年（コース）	1年次 選択
使用準教科書	『新編言語文化』（大修館書店）				
副教材等	『国語表現ナビ』（浜島書店）				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 国語の学習における基本事項を再確認し、話すことや書くことについて言葉を正しく使い、他者や社会を関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に文章表現の基礎の確実な習得を目指します。
- ② さまざまな文章を的確に読み取る力を養い、ものの見方や考え方の幅を広げることを目指します。
- ③ さらに学習活動全体を通して、国語全般に対する応用力を身に付けさせることを目指します。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	実社会に悲痛な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと」「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深め、自己を向上させようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物の内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	作文の基礎	B（4）	1 て・に・を・はを意識する 2 語を並べ替える① 3 語を並べ替える②	・助詞の使い方や言葉のつながり方、語順について演習を通して学び正しい文を書けるようにする。 ・正しい文を発表できるようにする。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	a b c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認） 振り返りシート（記述の確認）
4 5	ことばと出会う	C（5）	「季節の言葉と出会う」 黛まどか	・日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 ・季節に興味をもつとともに、日本独特の自然の味わい方について、自分の考えを深める。	a b c	ノート（記述の点検） ワークシート 発表の様子 振り返りシート
5 6	作文の基礎	B（4）	4 主語と述語を対応させる 5 係り受けを整える	・助詞の使い方や言葉のつながり方、語順について演習を通して学び正しい文を書けるようにする。 ・正しい文を発表できるようにする。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
6	前期中間考査	（1）			a b	ペーパーテスト（記述の分析）

6	ことばと出会う	C (5)	「漢字を仮名の使い分け」 阿辻哲次	・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
7	作文の基礎	B (4)	6 あいまいな表現をなくす 7 話し言葉を直す 8 一文を作る	・接続表現や指示語を適切に使って文と文をつなぎ、自分の伝えたいことが正確に伝わる文章をかけるようにする。 ・正しい文を発表できるようにする。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	表現を味わう	C (6)	「水かまきり」 川上弘美	・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 ・オノマトペの表現効果をとらえる。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	作文の基礎	B (5)	9 文をつなぐ① 10 文をつなぐ② 11 文をつなぐ③	・接続表現や指示語を適切に使って文と文をつなぎ、自分の伝えたいことが正確に伝わる文章をかけるようにする。 ・正しい文を発表できるようにする。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	前期期末考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
10	文化を見つめる	C (6)	「足し算の文化」 デービッド・アトキンソン	・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	表現をみがく	B (6)	12 適切な敬語を使う 13 慣用表現を使いこなす 14 類義語に注意する	・敬語表現・慣用表現・類義語などについて学び、自分の伝えたいことが効果的に伝わる文章をかけるようにする。 ・正しい文を発表できるようにする。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	ことばと生きる	C (5)	「祖母が笑うということ」 又吉直樹	・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	後期中間考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
12	表現をみがく	B (6)	15 いろいろな表現で伝える 16 文を短くする 17 要点を見つける	・敬語表現・慣用表現・類義語などについて学び、自分の伝えたいことが効果的に伝わる文章をかけるようにする。 ・正しい文を発表できるようにする。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
12	近代文学に触れる	C (6)	「夢十夜」 夏目漱石	・作品の状況設定を的確にとらえ、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。 ・ほかの作品と比較して読むことで、作品の解釈を深める。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	表現をみがく	B (4)	18 チェック問題① 19 チェック問題②	・前期からの学習事項を振り返り確認する。 ・正しい文を発表できるようにする。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	後期期末考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)

計 70 時間 (50 分授業)

### ※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	B「書くこと」 3 3 時間	C「読むこと」 近現代の文章 3 3 時間
-----------------	-------------------	--------------------------

### 6 課題・提出物等

- ・考査ごとにワークブックを提出してもらいます。
- ・単元ごとに振り返りシートを記入し、提出することになります。休業中の課題は、別途指示します。

### 7 担当者からの一言

「国語活用」は、社会生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、その力を話したり書いたりすることで実際に使用していく科目です。授業では、基礎基本を大切に、次年度の科目にもつながるように主体的に学びましょう。言葉の正しい理解と作品の深い読解を心がけ、自らの生活を豊かにする姿勢を養いましょう。

